

JICA 草の根技術協力事業（パートナー型）

日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト

2015 年度 第 2 回指導者候補 日本研修 開講式報告

国際部

日 時：2015 年 10 月 20 日（火）

会 場：公益社団法人日本柔道整復師会会館



写真 1 参加者一同



写真 2 ご来賓（JICA）左から橋口様、広瀬様

・モンゴル国での活動報告

1) バトムンク・アルタンエルデネ研修員

- ・バヤンホンゴル県ジャガラント郡ソム病院に勤務における、肋骨骨折、上腕骨外科頸骨折、鎖骨骨折、下腿骨骨幹部骨折、膝関節脱臼、橈骨遠位端骨折の治療経験を報告



写真 3 アルタンエルデネ研修員



写真 4 肋骨骨折患者への処置

2) オユンバートル・ダリンチュルン研修員

- ・スポーツ選手へのコンディショニング、保健所および勤務先のバガノール地区病院へのテキスト配布等の活動報告
- ・勤務先病院における橈骨頭骨折、上腕骨外科頸骨折、肩関節脱臼、距骨骨折等の治療経験
- ・治療経験を通して変形治癒や神経障害が高頻度で発生しており、これらを課題とし今回の研修に取り組むことを報告



写真5 ダリンチュルン研修員



写真6 バガノール地区病院での講習会

3) ダシュラウダン・ボロルトウーヤ研修員

- ・ドルノゴビ県講習会の報告
- ・オルホン県 Erdenet Medical Central Hospital での講習会開催ならびに受講生対象のアンケート結果報告
- ・エルデネドスポーツセンターでの活動報告
- ・肩関節、腰部の疾患が今回の研修課題であることを報告



写真7 ボロルトウーヤ研修員



写真8 柔道選手への処置

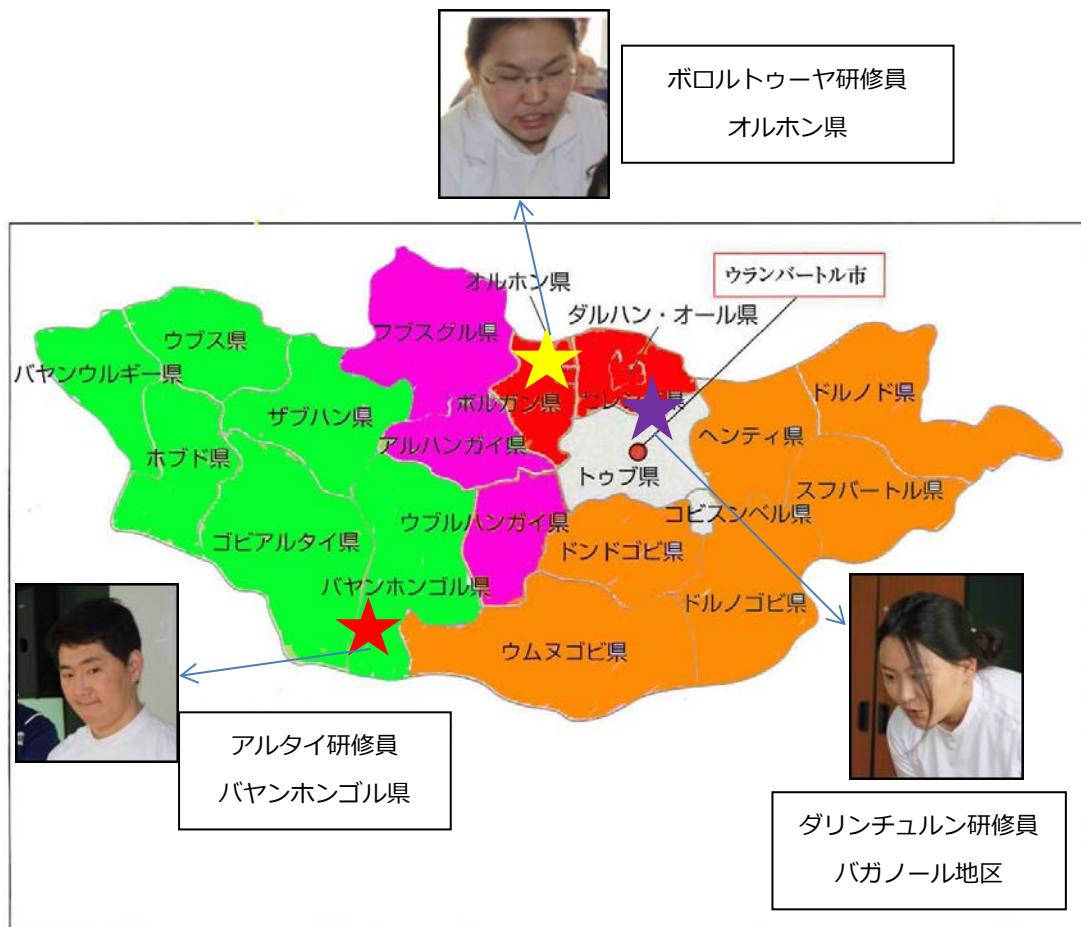


図1 研修員の活動地域

研修を重ねる度に、指導者候補の研修への意気込みがより強く感じられ、モンゴル国においても活動の幅が広がってきている。今回が最終となる日本研修においても各自が目標を持って技術研鑽し、本プロジェクト終了後も指導者候補が中心となりモンゴル国における柔道整復術普及が継続して可能になることを切望する。

今回は、京都府の接骨院および埼玉県の整形外科にて約2か月間の研修を予定している。